

「鋼構造座屈設計指針」 改定講習会

主催 日本建築学会 構造委員会 鋼構造運営委員会

後援 (予定) 建築業協会、開催地都府建築士会、開催地都府建築士事務所協会、日本建築家協会、日本建築構造技術者協会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会、日本建築センター、日本鋼構造協会、日本鉄鋼連盟

主旨 『鋼構造座屈設計指針』は1980年に刊行し、1996年の改定を経て、このたび再改定をしました。鋼構造を設計するうえで必要な、座屈に関する理論や知見を網羅し解説するのが本指針であり、「許容応力度設計法」「塑性設計法」「限界状態設計法」などの設計体系に基づいて制定された他の鋼構造規準・指針の中で、座屈に関連した条項について相互の関連や制定根拠などを明らかにすることを出版目的の一つとしています。

本講習会では、指針全般にわたって改定項目をまんべんなく概説します。さらに、梁の横補剛間隔や板要素の幅厚比についての制限値が各種の基規準や指針でどのように規定されているのかを、それぞれの設計体系と対比させて解説します。また、主要項目のいくつかを採り上げて詳しい説明を加えます。すなわち、「実験結果からみた梁の変形性能」では、各種の基規準や指針で想定している梁の変形性能について、実験データとの関連を解説します。「板要素のスチフナ補強とせん断座屈後繰返し挙動」では、梁ウェブなどの幅厚比規定を満足させるためのスチフナ補強について解説するとともに、薄板の各種荷重条件下での座屈設計手法やせん断座屈後の繰返し挙動について解説します。「骨組の $P\Delta$ 効果」

では、骨組挙動に及ぼす $P\Delta$ 効果の影響を解説するとともに、 $P\Delta$ 効果を簡便に考慮する方法を説明します。「筋かいの累積変形性能」では、塑性化と座屈を繰り返す筋かいの累積変形性能を、実験データなどに基づいて解説します。今回の改定には設計例を盛り込んでいませんが、講習会では座屈拘束プレースの設計事例を紹介するとともに、東京スカイツリーを例に座屈や不安定挙動に対して高度な設計者判断を行った事例も紹介します。

参加費 (テキスト代含む)

1	—— 日本建築学会会員	10,000 円
2	—— 登録メンバー*	11,000 円
3	—— 後援団体会員	12,000 円
4	—— 上記以外	15,000 円

*登録メンバーとは、会員外であって本会「能力開発支援制度」に登録された方です。詳細は本会ホームページを参照のこと。

<http://www.aij.or.jp/jpn/CPD/>

テキスト

『鋼構造座屈設計指針』、B5判、約390頁

申込方法

参加費をお支払いのうえ、必要事項を明記した次頁の参加申込書と参加券送付用封筒(80円切手添付、宛名記入)を同封し、お申し込みください。

なお、お電話での申込みは受け付けておりません。

開催地・期日・会場・定員・申込先・参加費支払い方法・振込先

開催地	期日	会場	定員	申込先	参加費支払い方法・振込先
東京	2009年 11月4日(水)	東京会場は定員に達したため申込みを締め切りました			
大阪	11月16日(月)	大阪科学技術センター 4階 401号室 (大阪市西区靱本町 1-8-4)	150名	日本建築学会 近畿支部 「座屈設計指針改定講習会」係 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター内 TEL 06-6443-0538	銀行振込 ●三井住友銀行大阪本店営業部 普通預金口座 4481226 ●ゆうちょ銀行 418 店 同行からの振込 14100-90203811 他行からの振込 (普) 418-9020381 社団法人日本建築学会 近畿支部

プログラム

開催地	期日	時間	13:00~13:40	13:40~14:20	14:35~15:55	16:10~16:50
		内容	主旨と全体概要	各種基規準・指針の比較 ①横座屈耐力と横補剛、②幅厚比制限値	主要項目の説明 ①実験結果からみた梁の変形性能、②板のスチフナ補強と繰返し挙動、③骨組の $P\Delta$ 効果、④筋かいの累積変形性能	設計例 ①座屈拘束プレース、②高度な設計判断事例(東京スカイツリー)
東京	11月4日(水)		多田元英 (大阪大学)	井戸田秀樹 (名古屋工業大学) 五十嵐規矩夫 (東京工業大学)	井戸田秀樹 (前掲) 五十嵐規矩夫 (前掲) 竹内 徹 (東京工業大学)	竹内 徹 (前掲) 常木康弘 (日建設計)
大阪	11月16日(月)		多田元英 (前掲) 荒木慶一 (京都大学)	金尾伊織 (京都工芸繊維大学)	金尾伊織 (前掲) 荒木慶一 (前掲) 田川 浩 (名古屋大学)	多田元英 (前掲)

※司会は、東京会場：竹内徹 (前掲)・五十嵐規矩夫 (前掲)、大阪会場：支部役員です。

※講師は都合により変更することがあります。

講習会参加申込書

講習会名・会場	「鋼構造座屈設計指針」改定講習会			(大阪会場)
参加者*1	フリガナ		会員番号	
	氏名			
会員区分*3	<input type="checkbox"/> 日本建築学会会員 (個人会員/法人会員・賛助会員*2) <input type="checkbox"/> 登録メンバー <input type="checkbox"/> 後援団体会員 (団体名・No.) <input type="checkbox"/> 上記以外			
勤務先名		所属部署		
所在地	〒			
電話		FAX		
E-mail				
参加費	円 (支払方法は、会場によって異なりますのでご注意ください)			
支払方法・申込方法*3*4	<input type="checkbox"/> 銀行振込： 指定口座に入金のうえ、申込書 (振込銀行欄記入または振込明細書コピー貼付) と参加券送付用封筒 (80円切手貼付、宛名記入) を同封し、お申し込みください。折り返し、参加券と領収書をお送りします。 <input type="checkbox"/> 現金書留： 本申込書と参加券送付用封筒 (80円切手貼付、宛名記入) を同封し、参加費を添えてお申し込みください。折り返し、参加券と領収書をお送りします。			
振込元銀行 (右欄記入の代わりに、振込明細書コピーを貼付いただいても結構です)	銀行名・支店名	銀行		支店
	ご依頼者(社)名			
	振込日	年	月	日
	振込金額	円 (他と合算送金の場合は、通信欄へ内訳をご記入ください)		
関連催し物のご案内	<input type="checkbox"/> 今後、関連する講習会等催し物の案内を希望しない。 (今後、関連する講習会等催し物のご案内をお送りします。希望されない方は、□に✓を記入してください)			

*1：同一組織での複数名によるお申し込みの際は、参加者全員の①氏名 (フリガナ)、②会員番号、③会員区分を通信欄にご記入いただければ、申込書は1枚で結構です。

*2：法人会員・賛助会員は、1口につき1名を会員扱いとします。

*3：該当区分の□に✓を記入してください。

*4：参加費の払い戻しはいたしません。なお、振込手数料等は申込者にてご負担ください。

通信欄